

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第21号)のトピックス

- 2015-16年シーズン(2015年36週/9月~2016年20週/5月)のまとめ
患者報告数の週別推移、年齢階級別患者報告数、入院患者サーベイランス
ウイルス検出状況・ウイルスの遺伝子系統樹解析

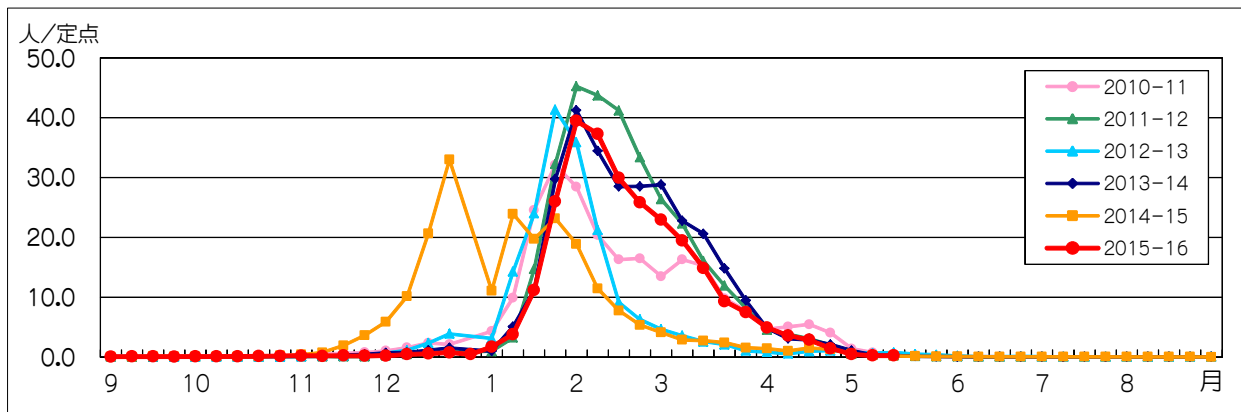


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移(東京都)

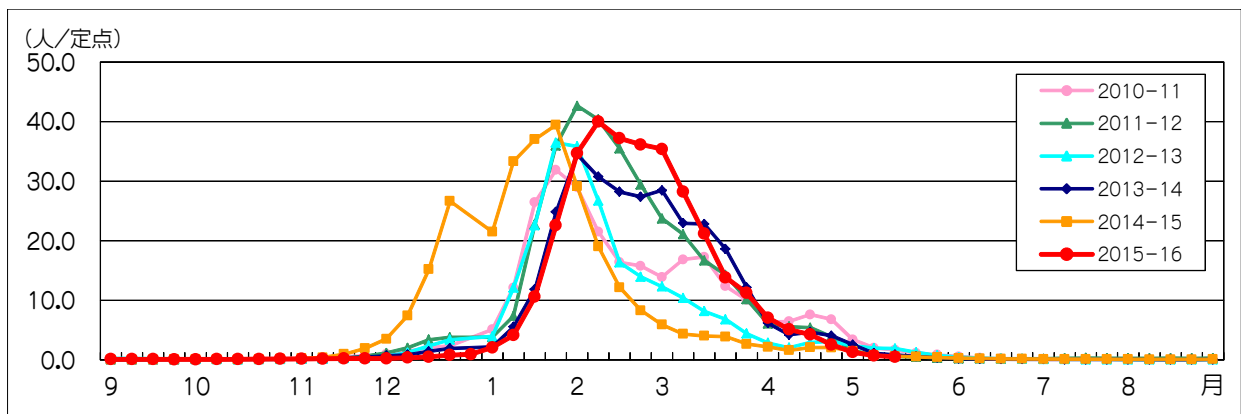


図2. インフルエンザ定点当たり患者報告数の推移(全国)

2015-16年シーズンのまとめ

東京都における2015-16年シーズン(以下、今シーズン)の流行は、2016年1週(1月4日~10日)に1.67人/定点と流行開始の指標となる患者報告数1.0人/定点を超え、5週(2月1日~7日)に39.43人/定点とピークを示した後順調に減少しました(図1)。全国も、6週に39.97人/定点とピークを示した後、順調に減

少しました(図2)。

今シーズンのインフルエンザ定点当たり患者報告数の累計は過去10年で4位(266.44人/定点)と、中規模の流行になりました。

*:インフルエンザ定点
419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

**：基幹定点
25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。

(1) 患者報告の状況

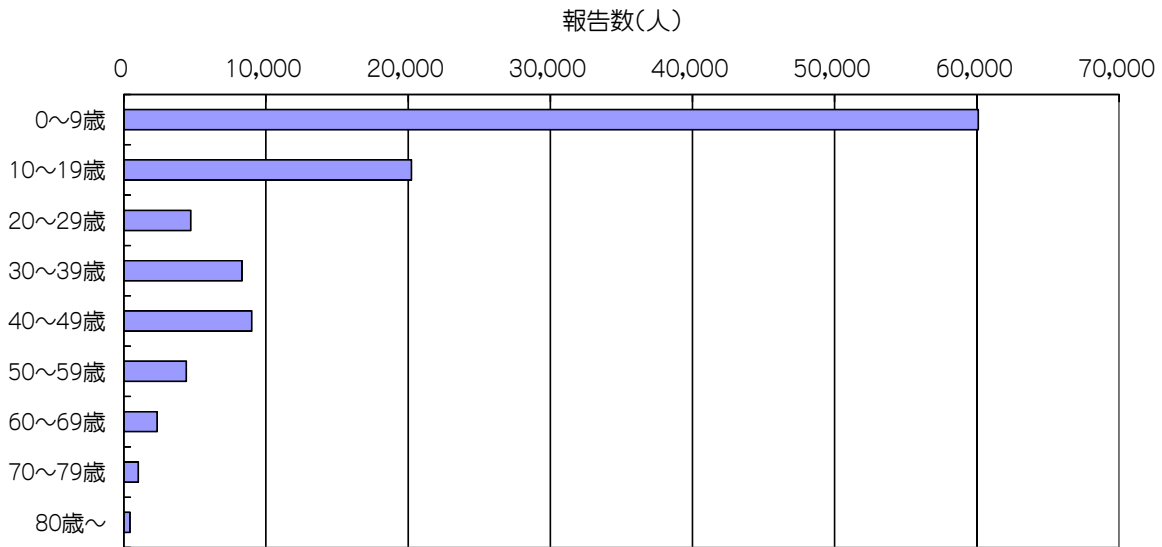


図3. 年齢階級別インフルエンザ患者報告数 (東京：2015年36週-2016年20週合計)

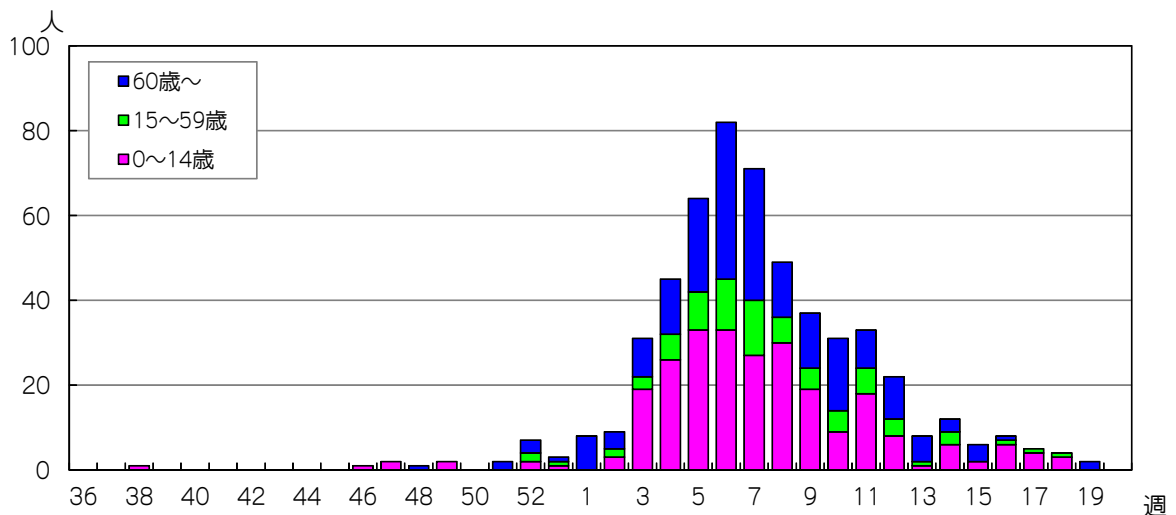


図4. 入院患者サーベイランス報告者数の推移

患者報告数を年齢階級別にまとめると図3のようになります。インフルエンザ定点419か所の内、小児科が264か所を占めるため、0～9歳の年齢域の患者報告数の割合は、過去10年では44～59%の範囲になっています。今シーズンは例年と同様に約54%となっています。

入院患者サーベイランスでは、546人(21.84人/定点)の報告がありました。年齢階級別で見ると0～14歳が256人(47%)、15～59

歳が81人(15%)、60歳以上が209人(38%)でした。昨年在院患者の報告数は0～14歳161人(27%)、15～59歳62人(10%)、60歳以上381人(63%)であったのに比して、今年0～14歳の割合が多くなり、60歳以上の高齢者の割合が少なくなっています。週別の入院患者の報告数はインフルエンザ定点からの患者報告数のピークとほぼ同じで、6週にピークを迎えました(図4)。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1pdm09	AH3	B
36週(8/31-9/6)	12	1	0	1	0
37週(9/7-13)	8	0	0	0	0
38週(9/14-20)	13	0	0	0	0
39週(9/21-27)	2	0	0	0	0
40週(9/28-10/4)	7	0	0	0	0
41週(10/5-11)	17	3	0	2	1
42週(10/12-18)	14	2	0	2	0
43週(10/19-25)	10	0	0	0	0
44週(10/26-11/1)	7	0	0	0	0
45週(11/2-8)	6	1	0	1	0
46週(11/9-15)	16	1	0	0	1
47週(11/16-22)	9	0	0	0	0
48週(11/23-29)	5	0	0	0	0
49週(11/30-12/6)	10	1	1	0	0
50週(12/7-13)	16	3	1	2	0
51週(12/14-20)	12	3	2	1	0
52週(12/21-27)	5	1	1	0	0
53週(12/28-1/3)	4	2	1	1	0
1週(1/4-10)	9	5	2	2	1
2週(1/11-17)	16	9	6	1	2
3週(1/18-24)	33	29	20	3	6
4週(1/25-31)	38	31	25	0	6
5週(2/1-7)	68	59	45	2	12
6週(2/8-14)	36	29	11	4	14
7週(2/15-21)	27	21	11	0	10
8週(2/22-28)	32	24	10	1	13
9週(2/29-3/6)	27	18	6	0	12
10週(3/7-13)	41	33	13	1	19
11週(3/14-20)	18	8	1	0	7
12週(3/21-27)	22	17	3	0	14
13週(3/28-4/3)	24	14	5	0	9
14週(4/4-10)	19	15	4	0	11
15週(4/11-17)	16	15	2	0	13
16週(4/18-24)	19	18	2	0	16
17週(4/25-5/1)	12	12	1	0	11
18週(5/2-8)	4	4	2	1	1
19週(5/9-15)	8	4	0	0	4
20週(5/16-22)	3	1	0	0	1
合計	645	384	175	25	184

(2) ウイルス検出状況

定点医療機関等から当センターに搬入された検体645件についてウイルス検査を実施した結果、384件からインフルエンザウイルスが検出されました(図5、表1)。内訳は、AH1pdm09 175件、AH3亜型25件、B型184件でした。

また、学級閉鎖など定点医療機関以外から、当センターに搬入された検体21件についてウイルス検査を実施した結果、すべてからインフルエンザウイルスが検出されました。内訳は、AH1pdm09 9件、AH3亜型9件、B型3件でした。(図6)。

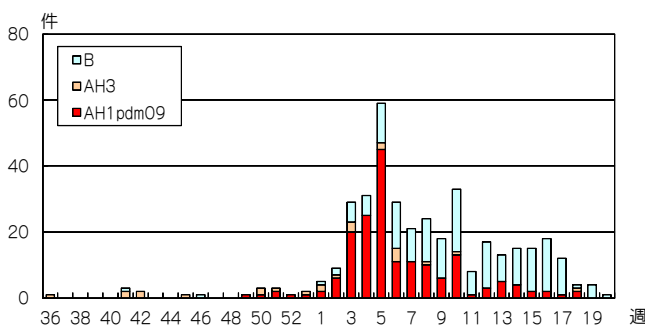


図5. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

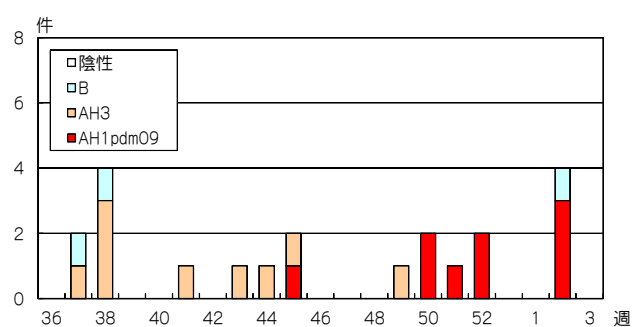


図6. インフルエンザウイルス検出数
(学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体)

(3) 2015/2016年シーズンに検出されたインフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹(東京都)

今シーズンに検出されたインフルエンザウイルスについてHA遺伝子系統樹及びHI試験を行い、ワクチン株との比較を行いました。今シーズンは、AH1pdm09、AH3亜型、B型Yamagata系統及びB型Victoria系統のウイルスが分離されました。

AH1pdm09の流行株は系統樹上2つのグループに分かれましたが、HI試験では両グループの株ともワクチン株と同等の反応性がみ

られ、抗原性に大きな変異はみられませんでした(図7)。

AH3亜型の流行株は、前シーズン主流であった流行株①と同じグループに属し、系統樹上はワクチン株から少し離れているものの、HI試験においてワクチン株と同等の反応性がみられました(図8)。

B型流行株は、Yamagata系統及びVictoria系統がともに流行しました。どちらの系統とも、2015/2016年シーズンワクチン株に近く、抗原性に大きな変異はありませんでした(図9)。

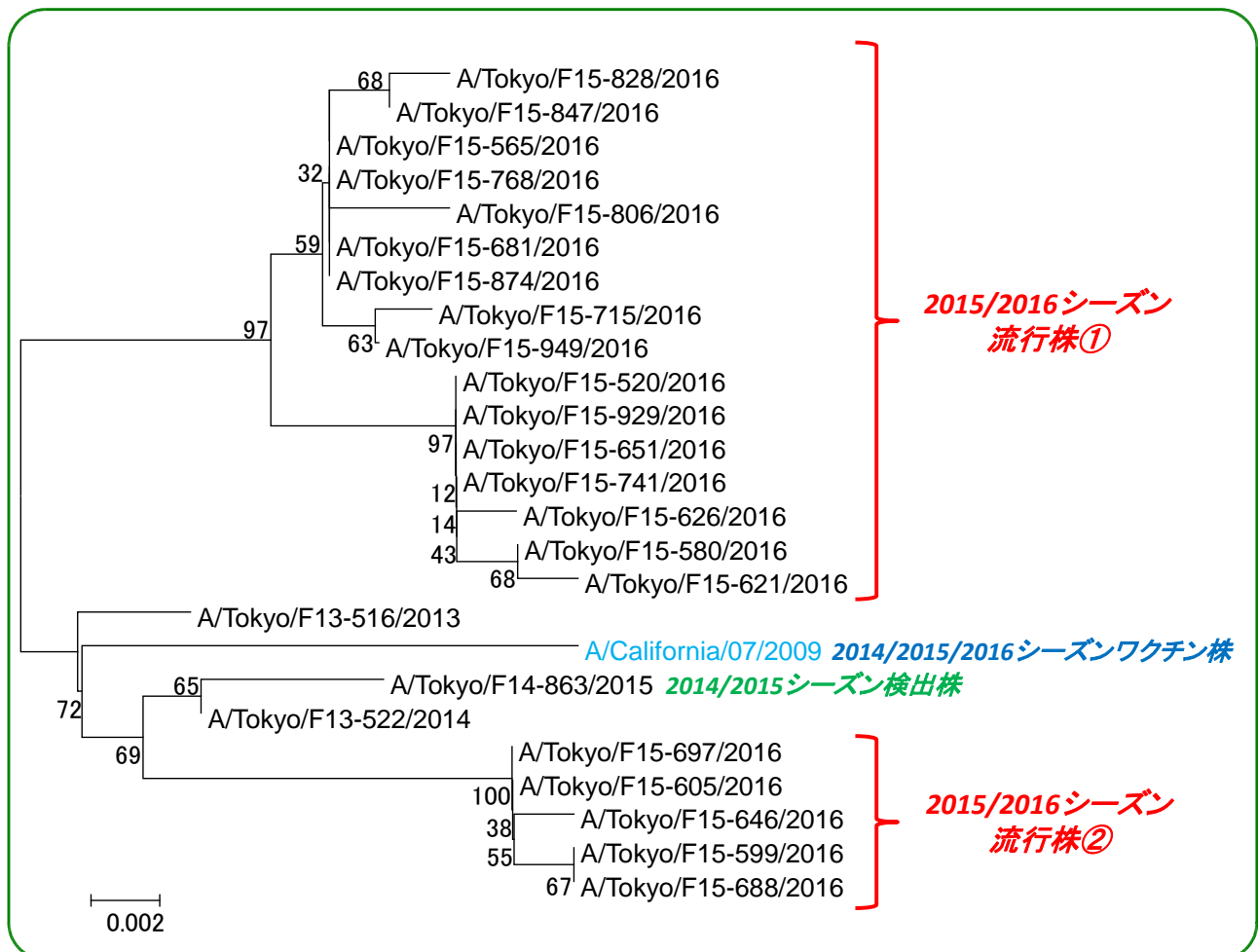


図7. 東京都におけるAH1pdm09インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

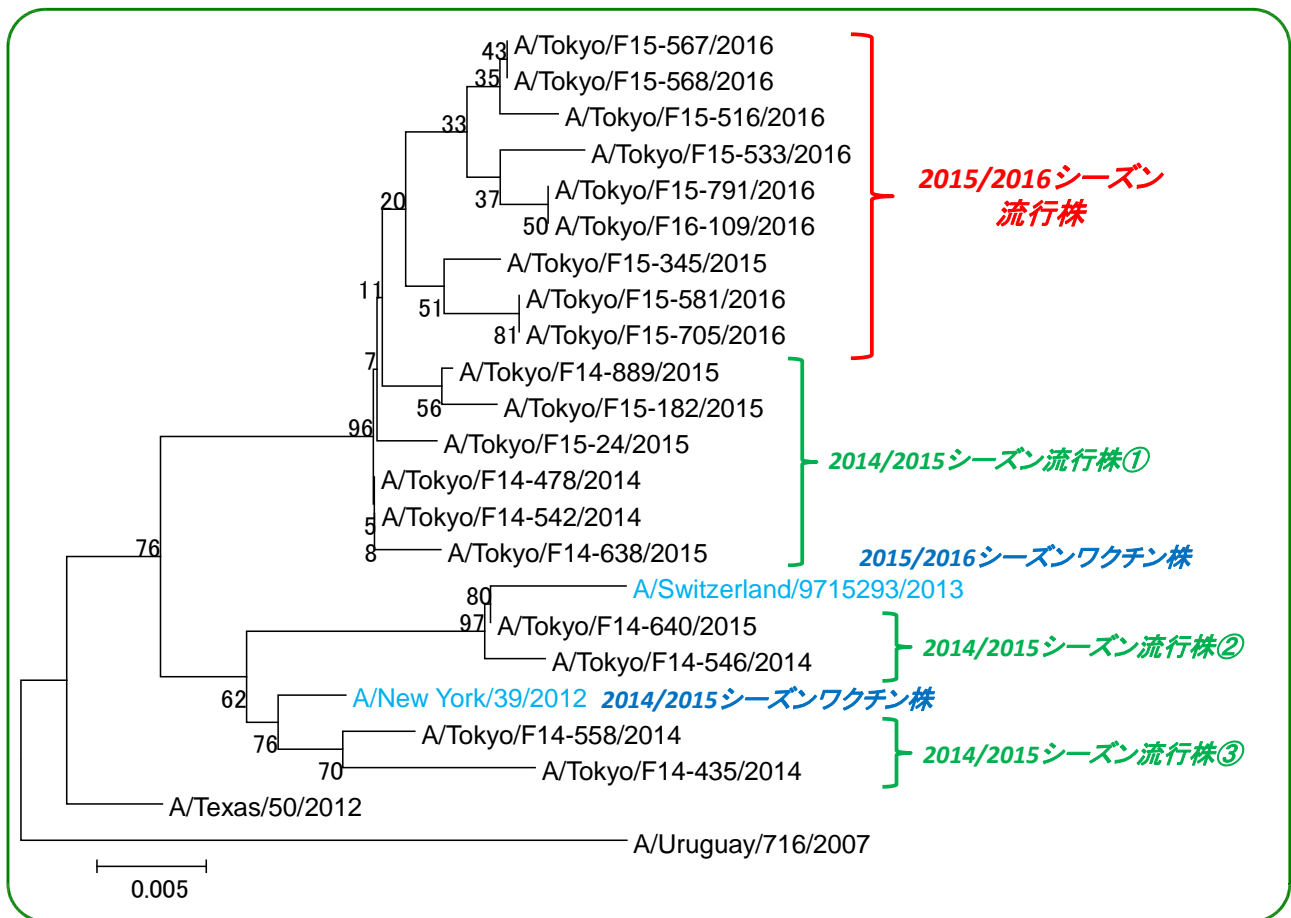


図8. 東京都におけるAH3亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

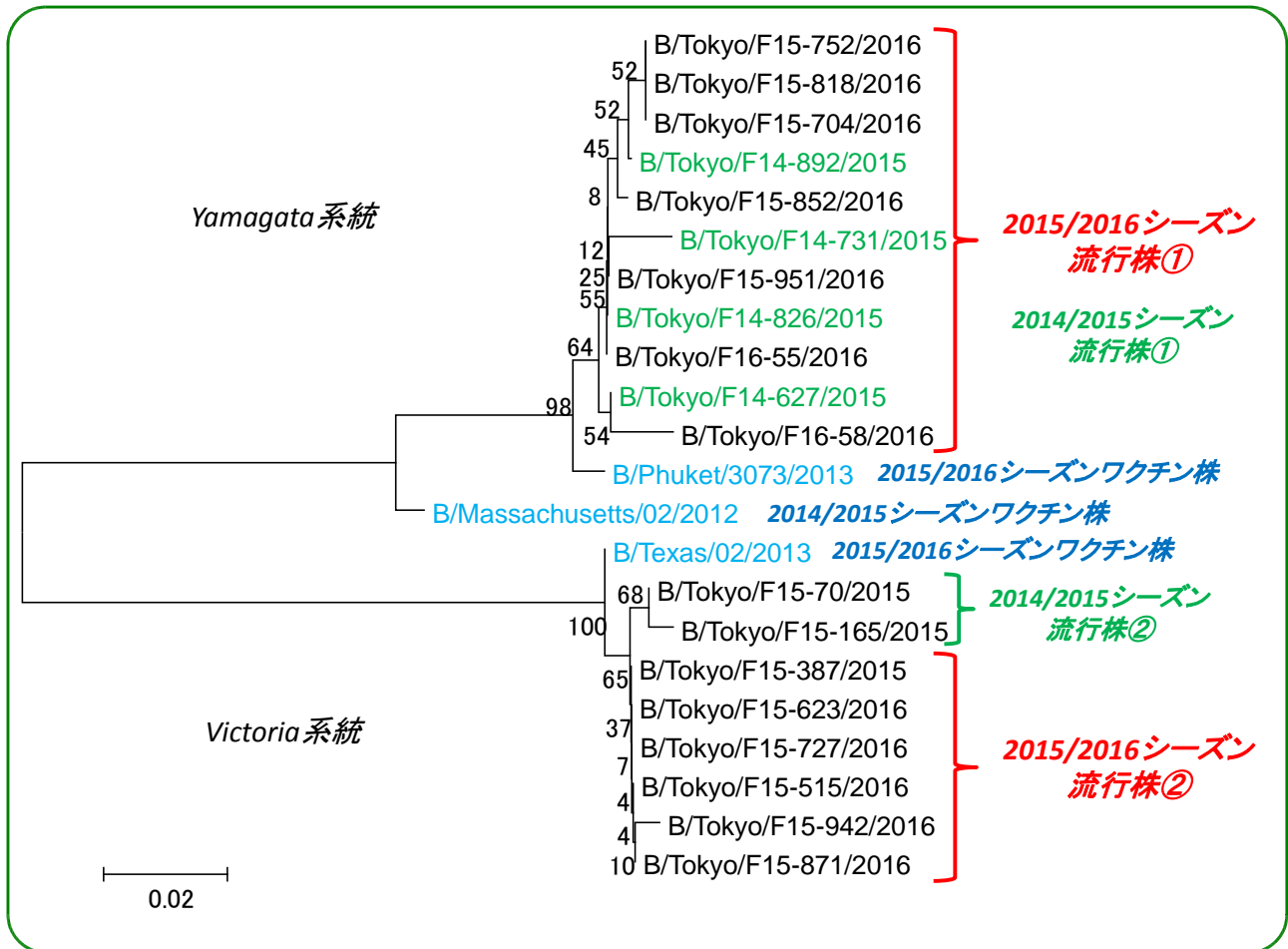


図9. 東京都におけるB型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

この号が2015-16年シーズンの最終号となります。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>